



村のうぶき

新規農作物栽培実証事業が 始まっています

たらの芽、ふきなど5品目で実施

村では、遊休農地の解消と土地の有効活用、また新たな農業振興と所得の向上を図るために、今年4月から新規農作物栽培実証事業をスタートさせました。

この事業は、村の指定

する5品目の農作物（たらの芽、銀杏、ふき、梅、ブルーベリー）について栽培、管理を委託できる農家を募集し、補助金による援助を行い、新規作物栽培のための技術修得と、ゆくゆくは村の新し



▲芽が出た たらの芽

い農作物として定着させ農業全体の所得の向上を図ることを目的としています。

現在、佐須の佐々木勝男さんのお宅では、村が委託したたらの根2千500本の「芽出し」作業が行われています。5月のはじめにポットに植えられたたらの根からは、5月終わりの頃から徐々に緑色の芽がはじめています。

「芽だし」の経験があ



▲作業をする佐々木さん

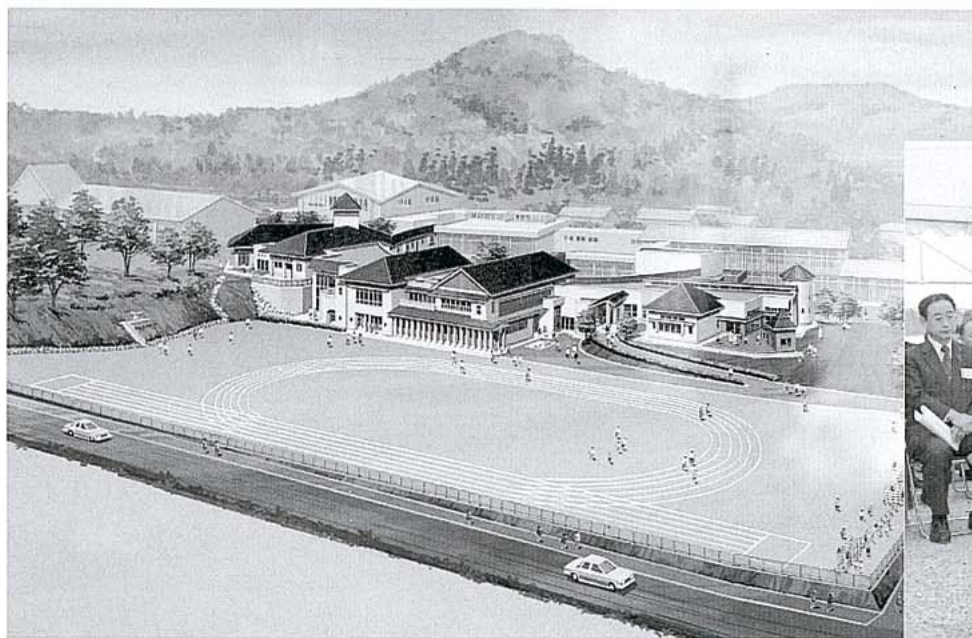
ることから今回の作業を引き受けた佐々木さんは「根のやわらかいものは芽が出るのが早いし、反対に根の固いものは芽が出るのが遅い。芽は3〜4センチぐらいの大きさが定植どき。順調に育てば8月には定植ができるだろう」と話していました。今後、育ったたらの芽は700株ずつ委託農家に配られ、畑に定植される予定です。

5つの農作物には 新品種を導入

今回「芽出し」を行っていたたらの芽の品種は、従来の「あやの」に変わり最近注目を浴びてきた「あすは」という品種。

この品種は、従来よりも収穫までの日数が短いのに加え、収量が多く、芽自体も大きく重いいため、従来よりも高い値段で多くの取引が期待できるとのことです。村では、ほかの4品目の農作物についても、それぞれ良質の新しい品種を導入する予定と担当の産業課では話していました。

また、村では新規作物の栽培を委託する農家を6月30日まで募集しています。詳しくは4月5日号「お知らせ版」、または以前配布したチラシをご覧ください。役場産業課（☎42-1621）。



▲新校舎のイメージ図



鍬入れを行う村長▶

飯樋小学校起工式

未来の校舎着工へ

飯樋小学校新校舎の起工式は、5月1日に同校校庭で行われ、村や工事関係者らが校舎の無事完成を祈願しました。

今回改築される校舎は、業者選定の段階からプロポーザル方式を採用し、その後も地域住民や先生方、そして子供たちとの

ワークショップ等を行い、そこでの意見を校舎設計に反映させるなど様々に斬新な取組を行ってきま

した。そうして出来上がった校舎の設計図には、子供たちの成長に合わせた学習スペースや、地域の方との交流スペースの導入、さらには「職員室」

の廃止など随所に新発想が盛り込まれています。

この日の起工式では、関係者による鍬入れや玉串奉天が行われ、工事の着工を祝うと共に工事期間中の無事故を祈願しました。校舎は平成16年3月完成予定、平成16年4月から共用開始予定です。

平成15年度少年補導員紹介

次の方が、少年補導員として福島県警察本部長（平成15年4月1日）から委嘱されました。少年に関する相談がありましたら、お近くの少年補導員にお気軽にご相談ください。



三坂二三子さん



多田 仁彦さん



草野 周一さん

氏 名	住 所	電話番号
三坂二三子	臼石字町362	42-0154
多田 仁彦	草野字宮内156	42-0108
草野 周一	飯樋字町71	43-2317